

## 1. 霧島錦江湾国立公園（霧島地域）

霧島錦江湾国立公園は、我が国最初の国立公園の一つであり、昭和9（1934）年に霧島国立公園として誕生しました。本公園は、大きく北部と南部に区分され、霧島地域・錦江湾地域として、それぞれ特徴的な景観を有しています。霧島市の位置する公園北部の霧島地域では、大小20以上の火山が連なり、火山活動に伴って誕生した火口湖、噴気現象、温泉及び高原などとともに、自然植生も多く残されています。霧島地域の主な利用拠点であるえびの高原、霧島温泉郷、高千穂河原、霧島神宮などには、多くの観光客が訪れます。

- ・1934年3月・・・「霧島国立公園」に指定
- ・2010年9月・・・霧島ジオパークが日本ジオパークに認定
- ・2023年2月・・・霧島市ゼロカーボンシティを宣言



ミヤマキリシマと霧島山

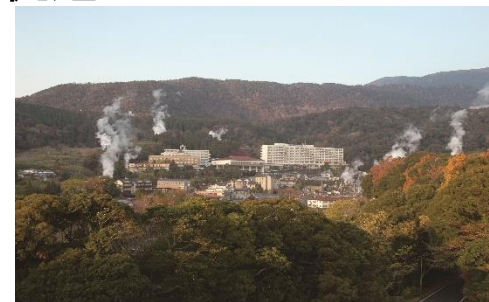
## 2. ゼロカーボンに向けた霧島市の取組

### ① 公共施設や宿泊施設等における再エネ活用や省エネ設備の導入促進

- ◆ 公園内にある宿泊施設等においては、省エネ機器や高効率設備等への設備導入・更新を促進します。
- ◆ 温泉熱を利用したバイナリー発電施設の設置、地中熱を利用した空調システムの導入を促進します。

### ② CO<sub>2</sub>を吸収する森林の適切な管理

- ◆ 豊富な森林資源に関して、間伐や再造林などの適切な整備を進めることにより、吸収源の確保を図ります。（適切な森林整備、植林・緑化活動への参加、かごしまエコファンドの活用）



霧島温泉郷の温泉街  
地熱（温泉蒸気）を利用した熱交換システム

## 2. ゼロカーボンに向けた霧島市の取組

### ③ 公共交通の利用促進によるCO<sub>2</sub>排出削減

- ◆ 公園内を周遊する霧島連山周遊バスや市内各所を巡回する霧島神宮アクセスバスの利用促進を図り、環境負荷の少ない公共交通観光を推奨します。
- ◆ レンタサイクル(電動アシスト付自転車を含む)の活用推進による二次交通のCO<sub>2</sub>排出削減、次世代自動車の導入促進及び充電インフラの整備を推進します。



鹿児島空港～霧島神宮～霧島神宮駅を繋ぐ霧島神宮アクセスバス



レンタサイクル等の活用推進

### ④ サステナブルな観光地づくりの推進

- ◆ 空の玄関口である鹿児島空港から国立公園内の温泉宿泊施設や霧島神宮、霧島神話の里公園や霧島神宮駅を繋ぐ霧島神宮アクセスバスを中心に、公共交通機関の促進によるマイカー利用抑制、また、観光を通じた地域の生活文化の情報発信による域内ならではのモノコト保全の検討など、持続可能な観光地づくりを推進します。



各種伝統芸能・森林セラピー・霧島最古の岩風呂・霧島神宮地域の生活・文化の情報発信によるモノコト保全を検討

### ⑤ プラスチックゴミ削減対策

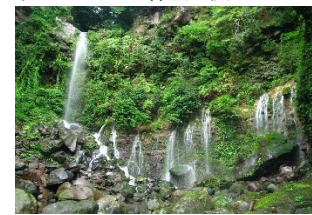
- ◆ 登山客や観光客が多い国立公園内の利用拠点施設において、分別回収を実施するなど、プラスチックゴミ削減の普及啓発を推進します。

### ⑥ 脱炭素・脱プラスチックを促すための啓発活動など

- ◆ 脱炭素・脱プラスチックの取り組みであるマイボトルの利用や資源ゴミの分別など、身近な脱炭素活動を推奨し、霧島錦江湾国立公園・霧島地域に訪れる方とともにゼロカーボンの実現を目指します。



大浪池の紅葉



国立公園内 千滝